



玉名ロータリークラブ週報

2017
2018



ロータリー：
変化をもたらす

R I 会長	■	イアン H.S.ライズリー
地区ガバナー	■	永田 壯一
会長	■	吉永 博之
幹事	■	渡辺 太朗
公使・海上・IT委員	■	西嶋 興生

例会日 ■ 毎週木曜日 / PM12:30~13:30

例会場 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 50-1 司ロイヤルホテル内
TEL(0968)73-8888 FAX(0968)73-8008

事務所 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 540-1-102
TEL(0968)73-3399 FAX(0968)74-3939

平成 30 年 5 月 17 日 No.2387

玉名RCメールアドレス jimu@tamanarc.org

ホームページ <http://www.tamanarc.org/>

【来訪者紹介】 国際ロータリー代 2720 地区

ガバナー補佐 末安俊治様 (荒尾 RC)

皆さんこんにちは。ロータリークラブでは年度が変わると新旧の役員が相互にグループ内のクラブを訪問してご挨拶するものなのですが、今回はグループ合同例会を開催したいと企画させていただきました。

年度明けの7月12日に、2018~2019年度の熊本第一グループの合同例会を開催させていただきます。今日は次年度ガバナー補佐であります中嶋会員と細かいお話をするようになります。どうか皆さん、今回の合同例会の趣旨をご理解いただき参加していただきたいと思います。

宜しくお願いします。



【会長の時間】 吉永会長

今月は青少年月間であります。なので青少年奉仕について私なりに調べてまいりましたので、それをお話させていただきます。

◎青少年奉仕とは

各ロータリアンは、年齢30歳までの若い人すべてを含む青少年の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来を確実なものとするために青少年の生活力を



高めることによって、青少年に将来への準備をさせることが求められます。すべてのクラブと地区は青少年を支援するプロジェクトに着手するよう奨励されています。それは健康、人間の価値、教育、自己開発です。

◎新世代のための会議

ロータリークラブは、地域社会レベルで青少年が地域の指導者と話し合い、自分と地元地域社会の問題の解決策を探るための討論の場を提供すべきです。

◎青少年奉仕プログラム

新世代のために、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム、ロータリー青少年交換のRIプログラムがあります。年齢30歳までの青少年が将来リーダーとなるために必要なスキルを身につけようとロータリーのプログラムに参加しています。

青少年プログラムの参加者は、地域のプロジェクトや指導力開発の研修・文化交流などに参加することによって自分自身と世界について発見することができます。そのほか倫理・奉仕・親睦の理念についても学ぶことができます。

◎ライラ RYLA : Rotary Youth Leadership Awards

(ロータリー青少年指導者養成プログラム)

ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) は、ロータリーが実施する若者たちのための研修プログラムです。RYLA の対象となるのは年齢12～30歳の青少年ですが、多くのクラブや地区では12～18歳、19～30歳など年齢層を絞って実施しています。RYLA はリーダーシップ、良き市民人間としての成長を強調しています。

◎インターアクト (Interact)

インターアクトは12歳から18歳までの青少年のための国際ロータリーの奉仕クラブです。インターアクトクラブは支援や指導を与えるロータリークラブが提唱して結成されますが、運営面でも経済的にも自立しています。クラブ会員の構成はさまざまです。男子のみ、女子のみのクラブもあれば男女混合からなるクラブもありその規模も大小さまざまです。会員基盤は1つの学校の学生から集められる場合もあれば、同じ地域社会内の2つ以上の学校から成る場合もあります。毎年インターアクトクラブは少なくとも2つの社会奉仕プロジェクトを行い、そのうち1つは国際理解と親善を推進するものとされています。現在120余りの国や地域に14000以上のクラブ、32000人以上の若者がインターアクトとかかわりを持っています。

◎ローターアクト (Rotaract)

ローターアクトは18歳から30歳までの青年男女のためのロータリーが提唱する奉仕クラブです。ローターアクトクラブは通常地域社会または大学を基盤としており、地元のロータリークラブが提唱しています。ローターアクトクラブは提唱ロータリークラブの真の「奉仕のパートナー」であり、ロータリー家族の重要な一員です。現在160余りの国や地域にある9000以上のクラブがあります。

◎青少年交換 (Youth Exchange)

ロータリー青少年交換に参加する学生は最高で1年間、母国以外の国でホストファミリーと生活をともにし学校へ通います。ロータリーの長期と短期の青少年交換プログラムによって、参加者は新しい生活様式、さらには新しい言語、そして自分自身についても多くのことを発見することになります。また参加者は自国やその文化、自分の考えを出会った人々に伝え、親しい友人を作りながら世界を一つにする役割をします。年間8000人以上の若者がロータリー青少年交換を通じて貴重な体験をしています。これは一生に一度の機会です。

【幹事報告】 渡邊幹事

○熊本中央 RC 例会変更並びに取り止めのお知らせが来ています。歳祝い会へ変更の為、

日時：6月8日(金) ⇒ 同日 18:30～

場所：和食「仲村」

日時：6月29日(金) ⇒ 定款第8条第1節に基づき取り止め

○ガバナー補佐末安俊治様より、熊本第1グループ会長・幹事会(第3回)のご案内が来ています。

日時：5月29日(火) 18:30より

場所：ホテルヴェルデ「小岱」

会費：7,000円

○玉名中央 RC より週報が来ています。



【スマイル報告】 鶴田副委員長

荒尾 RC 末安俊治 G 補佐様・・・久振りに伺いました。本日は、7月12日(木)熊本第一グループ4RCの合同例会開催につきまして次年度ガバナー補佐中嶋様と打合せにまいりました。

吉永会長渡邊幹事・・・末安 G 補佐ようこそ。田原会員、馬山の話、よろしくお願ひします。

田原さん中嶋さん・・・末安様ご苦勞様です。これからも良きご指導の程よろしくお願ひします。

田畑さん・・・末安 G 補佐様ご来訪心から歓迎し致します。田原会員、馬山訪問報告よろしくお願ひします。馬山へ行かれた会員の皆様お疲れ様でした。

渡邊智さん・・・末安 G 補佐様ご来訪心から歓迎致します。例会に欠席がちですみません。

小関会員韓国から生きて帰られて良かったです。松本会員おめでとうございます。

高木孝さん・千蔵さん・吉岡さん・松崎さん・田中さん・吉田彰さん・鶴田さん・松本さん・小関さん・堀本さん・本田さん・坂梨さん・井上さん・高木幸さん・吉田光さん・深見さん

・・・末安 G 補佐様ご来訪心から歓迎し致します。田原会員さん馬山訪問んの卓話

よろしくお願ひ致します、そして田原会員、村上会員、中嶋会員馬山中央 RC 訪問

お疲れさまでした。ありがとうございました。

古賀さん・・・欠席します。申し訳ないです。

前回までの累計 ￥849, 000

今 回 ￥ 26, 000

合 計 ￥875, 000

【出席報告】鶴田副委員長

本日の出席	会員数	53 (50) 名	欠席者	福田 浜田 廣田 古賀 村上 村田 野田 前島 志賀 西嶋 前田 品川 杉谷浦田 上村 山村 上田継 山田司 山口
	出席数	31 名		
	出席率	62.00%		
前回の出席	前回出席数	34 名	前回のメイクアップ	小関 山田邦
	修正出席数	36 名		
	修正出席率	73.47%		
出席規定適用免除者		7 名		

【今後のプログラム予定】

5月24日(木) 株式会社 up 代表取締役 牛尾真瑚様

テーマ 『心の声』



【国際奉仕委員会報告】

◎小山委員長

この時間は国際奉仕委員会報告という事で、少しお時間を頂いております。よろしくお願いいたします。
本年度国際奉仕委員会活動について大きく2つございます。まず1つ目は既に終了しておりますが、年度始めより RC 財団の地区補助金を利用したタイ放置自転車贈呈プロジェクトを行いました。

9月に1度タイバンコクで現地の RC 例会に参加し打ち合わせ、また年が明けて2月にはタイのソクラ市まで自転車の贈呈式に行っていました。
内容につきましては委員会報告にてスライド写真等で既にご報告させて頂いております。タイの子供達には大変喜ばれ素晴らしい奉仕活動贈呈式だった事を改めてよかったなと思います。



2つ目ですが本日メインのお話しになります。馬山中央 RC との姉妹クラブ締結の件です。来年度に5年に一度の姉妹クラブ締結更新の時がせまっています。その締結の調印式までに現在までの締結内容と今後の締結内容を調整をしなければなりません。村上会員が座長となりまして協議してまいりました。先月4月に村上座長、田原会員、中島会員、小関会員で馬山へ訪問してきました。本日村上座長にご報告頂く予定でしたが都合により欠席ですので、田原会員に報告をしていただきたいと思っております。

◎田原会員

今回の訪問の目的は1年毎の相互訪問と次年度姉妹締結継続35周年を迎えるに当たり、締結内容の見直しを相談するのが目的です。

18日の昼ごろ釜山空港に到着すると、例のように馬山中央会員さん8名に迎えて貰い馬山に向かいました。今回初めて宿泊する、MASAN TOTJRIST HOTEL の会議室で馬山中央 RC の現在の幹部さんとミーティングを行いました。



馬山の会員は65名で5年前に比べ少し縮小しています。

最近多くなった若い会員は玉名と交流の実績が無いので、姉妹クラブについて良く解らない人が多いのが実情みたいです。それは我が玉名も同様かと思っております。

現長会長の思いを伝えます。年齢は53歳、ロータリー暦は10年ぐらいだと思います。今までに何度か日本に行ったり皆様を迎えたりして、貴重な経験と奉仕活動をする事が出来ました。玉名の皆様を知らなければ今の私の考えや行動が無かったかもしれません。また言葉のスムーズなコミュニケーションが出来ない事もありますが、真剣に伝えれば気持ちは分かり合える事も経験しました。今後も沢山参加して交流

したいと思います。

また一昨年50周年で訪問した時も玉名の会員さんに
沢山の接待をして頂き、とても嬉しく楽しかったです。
今後も負担にならないような交流をしたい思いです。
又懇親会などの会合では1テーブルに1人の通訳でき
る人を準備するなど、更に今後は会員や子供さんの
ホームステイの交流など検討したい！と言われました。



最後に日本と韓国には微妙な問題も存在しますが、
馬山中央 RC の皆様からはそのような感情は微塵も
感じません。訪問すれば常に多くの会員さんが歓迎して戴けます。今後の交流の機会に玉名の会員の皆様
にも訪問やお迎えに多くの参加されますようお願いしたいと思います。

「馬山中央クラブとの姉妹クラブについて」

平成 30 年 4 月 18 日 (水) 於馬山ツーリストホテル

「締結内容の見直しについて」

- 〈現状〉 1) 姉妹締結の期限は5年とし双方より異義ない場合は更新する。
更新締結の場所は交互に行う。
- 2) 双方の10年毎の創立記念事業に対しては、表敬訪問の上、活動資金として10万を
贈呈する。
- 3) 相互訪問の接待は訪問日と翌日は受け入れ側のお世話とし、それ以後は訪問側の自由
行動とする。訪問側は負担金については参加人数×5千円をスマイル。
奉仕金として受け入れ側に提供する。
- 4) 交流は毎年1回隔年の相互訪問を基本とし、特別な事情がある際は事前協議にて決定
する。

〈改定検討項目〉

- 1) 現状通りとする
- 2) 現状通りとする
- 3) 相互訪問の接待は、訪問日と翌日は受け入れ側のお世話とし、それ以後は訪問側の自由
行動とする。訪問側の負担金については、参加人数×10,000円をスマイル(奉仕金)
として受け入れ側に提供する。奥様も含め同様とする。
但し小学生以下の子供は0円とする。
- 4) 交流は2年間隔で交互に訪問する事を基本とする。但し周年行事や姉妹継続該当年等、
特別な事情がある場合は連続して交流するなど事前協議にて柔軟に対応する。

「挨拶文」

2018年4月18日（水）馬山中央 BC クラブ例会

馬山中央 RC の皆様こんにちは！本日は玉名 RC を代表して4名の会員でお伺いしました。

自己紹介いたします。私、今回の団長で口先達者な「村上弘」です。次が玉名 RC で例年影の会長と言われる「田原豊昭」、そして我が玉名 RC が誇るエンターティナー「中島一了」、最後はプロカメラマンを目指す「小関二誠」です。どうぞ宜しくお願いいたします。

最初にお詫びをいたします。今回の訪問に現在の会長、幹事、国際奉仕委員長が欠席しております。仕事の都合で止む無く同行出来なかったことをお許しください。

まずは感謝を申し上げます。1 昨年玉名 RC 50 周年の際は貴クラブより30名の会員と奥様に参加戴き誠に有難うございました。式典には「林 盛英」様の素晴らしい歌声で華を添えていただき感激しました。今でも話題に成るほどです。

さて今回の訪問の目的は、今後の馬山中央 RC との姉妹クラブの更なる交流の発展を願い、締結内容の一部見直しの相談もあります。と言いますのも玉名の会員50名の内、27名の半数以上がこの5年以内の入会です。その殆どの会員がこの馬山に来た事が有りません。1 昨年の30名の皆様との交流が初めてでした。一緒に歓迎会を行いましたと言葉の問題も有り上手く交流が出来たとも思えません。それだけに今後、次年度の貴クラブの周年式典には多くの玉名の会員に参加して貰いたいと考えています。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

